

別紙資料2（交流活動についての第1学年生活科単元計画及び指導案）

第1学年 生活科学習活動案

平成22年11月2日火曜日 第3校時
平成22年11月11日木曜日 第3・4校時
平成22年11月15日月曜日 第3校時
1年生 児童数 44名
場所 ○○小学校多目的ホール
支援者 尊田 史 他

1. 単元名「2回目のなかよし交流をしよう」

2. 単元について

○○小学校と△△保育所は歩いて5分程の近距離にある。○○小学校に入学する児童の8割位が△△保育所を卒園してきており、1年生にとって△△保育所は身近で親しみやすく、懐かしい所である。

昨年度まで保育所との交流は、夕涼み会に案内してもらったり、運動会に招待したり、1日入学で交流したりという行事の時の交流が主であった。

今年度は、9月に運動会の招待状を渡すことをきっかけに△△保育所を訪問し、1回目の交流を行った。交流前には、運動会について紹介する内容を考えて発表の練習をしたり、名刺を工夫して作ったり、折り紙を折る練習をしたり、年長児との交流を楽しみにしながら意欲的に準備をすることができた。交流当日は1年生が主体となって進行をし、運動会の紹介や歌、ペアを作って折り紙を折るなど、楽しく活動することができた。児童の振り返りでは、「最初はドキドキしたけど、楽しかった。」、「色々教えてあげたのが嬉しかった。」、「保育所の子も上手にできてびっくりした。」、「～くんがやった時、みんな笑っていてよかった。」など、交流に対してそれぞれが肯定的で、前向きな意見を持つことができていた。

これらのことから、年長児との交流は1年生にとって楽しいものであり、自分の成長を感じたり、友だちのよさに気付いたりできるものであるといえる。また、年長児にとっても、1年生とふれあうことで児童や小学校に親しみが持て、1年生や小学校の先生など色々な人とのかかわりを持つことができるものである。交流を行事の時だけに行うのではなく、交流を継続して行うことで園児にとっても1年生にとっても互恵性のある交流活動にすることができると考えた。

そこで、2回目の交流では年長児を小学校に招待し、交流を行うことにした。交流の内容は、1学期に行った学校探検から、自分たちのお気に入りの場所を案内して一緒にかるたを作る活動である。1学期の学校探検では、2年生に学校を案内してもらったり、自分のお気に入りの場所で遊んだりしている。そのような経験から、自分たちの学校や学校にいる人、場所などに親しみを持っている児童も多く、そのことを年長児に伝えることにより、さらに愛着がわくであろうと考えた。また、年長児と一緒にお気に入りの場所のことをかるたにする活動は、季節的にもふさわしく、年長児と児童が協力して活動を行う必要性があることから、交流に適している活動であると考えた。

今回の交流場所は小学校であるので、1年生がさらに主体的に活動し、かかわりを深めることができると思われる。そのような中で、1年生は自分の成長をさらに実感したり、友だちのよさに気付いたり、園児に親しみを持ったりできるようになると思われる。また、年長児にとっては初めての小学校訪問である。小学校入学への気持ちが出てくるこの時期、小学校を訪問して、1年生とかかわったり、実際に見たりすることは、よい体験になるであろう。2回目の交流活動をすることで、児童も園児もそのような姿に育って欲しいと願っている。そして、「また会いたい。」、「次はこんなことがしたい。」、「もっと一緒に遊んでみたいな。」など、次の交流活動へつながるような気持ちを育てたいと考えている。

本単元は、「小学校学習指導要領 生活 内容(8)」を主として受けている。

3. 単元の目標

○年長児（保育所）と進んで交流したり、一緒に楽しく活動しようとしていたりしている。（生活への関心・意欲・態度）

○自分ができることや役割を考えながら、年長児（保育所）と協力して活動することができる。

(思考・表現)

○年長児（保育所）と一緒に活動することを通して、自分ができるようになったことや友だちのよさに気付くことができる。（気付き）

4. 単元の評価規準・評価規準の具体

内容のまとめりごとの評価規準		
生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合うことに関心を持ち、進んで交流しようとしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動について、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりしている。	身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、互いに交流することのよさに気付いている。
単元の評価規準		
生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
年長児（保育所）と進んで交流したり、一緒に楽しく活動しようとしている。	自分ができることや役割を考えながら、年長児（保育所）と協力して活動することができる。	年長児（保育所）と一緒に活動することを通して、自分ができるようになったことや友だちのよさに気付くことができる。
小単元における具体的評価規準		
生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ol style="list-style-type: none"> 1. 年長児との交流を楽しみにし、進んで内容を考えようとしている。 2. 年長児に自分から働きかけ、楽しく活動しようとしている。 3. 交流の内容を考えて意見を出したり、決まったことについて自分ができることや役割を考えたりしようとしている。 4. 年長児を進んで学校に案内したり、一緒に楽しくかるた作りをしようとしている。 5. かるたで一緒に遊ぶことを通してペアの年長児とより仲良くなり、年長児の入学を楽しみにする気持ちを持つようとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 紹介したい内容を考え、友だちと協力して発表の準備や練習ができる。 2. 年長児が楽しみ、自分たちも年長児に親しみ楽しい交流になるよう、かかわり方を工夫することができる。 3. 第2回の交流を振り返り、年長児と交流して楽しかったことや気付いたことを考え、自分の思いを手紙に書くことができる。 4. よりよい1日入学にしようとするまでの経験をもとに計画や準備をすることができる。 5. 年長児に自分ができるようになったことや小学校のことを分かりやすく伝えることができる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動を振り返り、自分の成長や友達のよさに気付いたり、年長児に温かい気持ちを持つたりすることができる。 2. 第2回の交流を振り返り、年長児のがんばりや自分の成長、友だちのよさに気付くことができる。 3. 自分が1年間でできるようになったことに気付き、1日入学で年長児に紹介する内容を考えることができる。

5. 単元の活動計画（全12時間扱い）

時間	活動名・主な学習活動	教師の支援	具体的評価規準・評価方法
第1次 3時間	△△保育所と1回目のなかよし交流をしよう ①運動会の紹介をする内容を決め、発表の準備や練習をする。(1) ・運動会の招待状を書く。 ・ペアの年長児に渡す名刺カードを作る。 ②1回目のなかよし交流会をする。(2) ・運動会のことを紹介する。(招待状渡し、校歌)	・どんなことをしたいか児童に考えさせ、出たものをまとめながら、内容を決めるようにする。 ・決定した内容の中で、自分が発表したい内容の準備をする。 ・折り方を教えながら一緒に折ることができるよう、事前に一人で折ることができるようにしておく。 ・活動が停滞しているペアがいたら声をかけ、活動が進むようにす	・年長児との交流を楽しみにし、進んで内容を考えようとする。(発表) ・紹介したい内容を考え、友だちと協力して発表の準備や練習ができる。(観察) ・年長児に自分から働きかけ、楽しく活動しようとしている。(観察) ・活動を振り返り、自分の成長や友だちのよさに気付いたり、年長児に温かい気持ちを持つたりすることができる。(振り返りカード)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの年長児と名刺交換をする。 ・一緒に折り紙をする。(片付け) ・終わりの挨拶をする。 ・振り返りをする。 	る。	
<p>第2次</p> <p>4時間</p>	<p>△△保育所と2回目のなかよし交流をしよう</p> <p>①「かるた作り」を中心とした交流の内容を考えたり、計画を立てたりする。(1)</p> <p>②年長児を招待し、「かるた作り」をして交流をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めの挨拶をする。 ・学校の中で、自分がお気に入りの場所へ年長児を案内し、紹介をしたり、遊んだりする。 ・お気に入りの場所のかるたを一緒に作る。 ・終わりの挨拶をする。 <p>③交流の振り返りをし、年長児に手紙を書く。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の交流をすることを知らせ、児童が「また交流したい」という気持ちが持てるよう、問いかけをし、交流への気持ちを高めていく。 ・保育所の年長児も、できそうなことを出させるようにする。 ・園児にも児童にも分かるよう、学校探検の仕方や約束について説明する。 ・園児にも児童にも分かるよう、かるたの作り方を説明する。 ・自分たちの活動をビデオで見ながら、自分たちが気付かなかったことに気付かせる。 ・ビデオ以外で気付いたことを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちのよかったところ ○友だちのよかったところ ○年長さんのがんばっていたところ ・振り返りを通して感じた自分の思いを書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の内容を考えて意見を出したり、決まったことについて自分にできることや役割を考えたりしようとしている。(発表・観察) ・年長児を進んで学校に案内したり、一緒に楽しくかるた作りをしたりしようとしている。(観察) ・年長児が楽しみ、自分たちも年長児に親しみ楽しい交流になるよう、かかわり方を工夫することができる。(観察) ・交流を振り返り、年長児のがんばりや自分の成長、友だちのよさに気付くことができる。(発表) ・交流を振り返り、年長児と交流して楽しかったことや気付いたことを考え、自分の思いを手紙に書くことができる。(観察)
<p>第三次</p> <p>5時間</p>	<p>1日入学で年長さんを迎えよう</p> <p>①1日入学で年長さんを迎える内容を考えたり、計画を立てたりする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生でできるようになったことを話し合う。 ・交流の準備や練習をする。 <p>②1日入学で年長児と交流する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めの挨拶をする。 ・小学校のことや自分たちができるようになったことを紹介する。 ・かるたで一緒に遊ぶ。 ・終わりの挨拶をする。 <p>③1日入学の振り返りをする。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学した時から今までの自分を振り返ってできるようになったことを考えさせ、自分の成長に気付くようにする。 ・小学校のことや自分たちのできるようになったことを、年長児にどのように伝えたらよいか考えさせる。 ・1年生が年長児の入学を待っていることが伝わるような内容になるように助言をする。 ・1年生が入学への期待感や安心感を持つことができるよう、ペアの相手とより仲良くなり、楽しい雰囲気的活動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が1年間のできるようになったことに気づき、1日入学で年長児に紹介する内容を考えることができる。(観察・ワークシート) ・よりよい1日入学にしようと、今までの経験をもとに計画や準備をすることができる。(観察) ・年長児に、自分ができるようになったことや小学校のことを分かりやすく伝えることができる。(発表) ・かるたで一緒に遊ぶことを通してペアの年長児とより仲良くなり、年長児の入学を楽しみにする気持ちを持つようとしている。(観察・振り返りカード)

() は時数

6. 本時の活動（全12時間中4時間目）…11月2日実施

- (1) 目標 交流の内容や自分の役割を考え、年長児と進んで交流する気持ちを持つとする。
- (2) 評価規準 ○交流の内容を考えて意見を出したり、決まったことについて自分のできることや役割を考えたりしようとしている。(生活への関心・意欲・態度)
- (3) 準備物 かるた（見本1）（教師が作成したもの1）
- (4) 展開

時間	主な学習活動	児童の意識の流れ ◎教師の支援	具体的評価規準・評価方法
5分	1. 前回の交流を振り返る。	◎前回の交流のことを思い出しながら振り返り、2回目の交流への意欲や期待が持てるようにする。	○交流の内容を考えて意見を出したり、決まったことについて自分にできることや役割を考えようとしている。(発表・観察)
10分	2. 2回目の交流をすることを知らせる。	◎2回目の交流をすることを知らせ、児童が、「また交流したい」という気持ちを持てるよう、問いかけをし、交流への気持ちを高めていく。	
なかよしこうりゅうかいですることをかんがえよう		<p>久しぶりに会えるね。</p> <p>前の交流も楽しかったから、もっと仲良くなりたいな。</p> <p>運動会にも来てくれて嬉しかったよ。</p> <p>みんなどうしてるかな。</p> <p>音楽室は色々な楽器があってすごいよ。</p> <p>僕の好きな場所は校庭だよ。イチョウがきれいだよ。</p> <p>「かるた」だったら、年長の時も作ったからできるよ。</p> <p>年長さんはどんなことができるかな。</p>	
15分	3. 交流する内容について話し合う。 ・探検で学校を案内したいところを発表する。 ・交流でしたいことを考える。 ・「かるた」を作ることを知る。	◎学校での児童のお気に入りの場所を案内することを知らせ、自分の行きたい場所を考えさせる。 ◎保育所の年長児もできそうなことを出させるようにする。	
15分	4. 当日までにしておくことを考える。 ・「かるた」のことや交流までにしておくことを確かめる。 ・全体の係を決める。	◎「かるた」とはどんなものかを児童と一緒に確かめる。 うちにもかるたがあるからわかるよ。 前みたいに司会とかも自分たちでやるんだ。 言葉にあった絵をかかなくちゃいけないんだね。	

7. 第1学年・年長児交流活動案

平成22年11月11日(木)9:35~11:15

場所 ○○小学校多目的ホール

1年 男子23名 女子21名 計44名

年長児 男児9名 女児21名 計30名

支援者 尊田 史 他2名

年長組担任 3名

1. 単元 2回目のなかよし交流をしよう

2. 本時の目標(1年生)

○年長児を進んで学校案内やかかるた作りをし、年長児と協力して活動することができる。

3. 評価規準

○年長児を進んで学校に案内したり、一緒に楽しくかるた作りをしようとしていたりしている。(生活への関心・意欲・態度)

○年長児が楽しみ、自分たちも年長児に親しみ、楽しい交流になるようかかわり方を工夫することができる。(活動や体験思考・表現)

4. 準備物・持参物

小学校…画用紙(B5サイズ)、マジック、学校の色々な場所の写真、市販のかるた(見本) 作業机

2. ねらい(年長児)

○小学校への訪問を楽しむ。

○1年生と学校探検やかかるた作りをすることを通して、1年生に親しむ。

保育所…クレパス

5. 展開

時間	活動の流れ	環境構成	◎T1の支援	◆1年生の予想される姿	◆年長児の予想される姿	◎T2~T6の1年生への支援 ◎T2~T6の年長児への支援 ●T2~T6の年長児・1年生への支援 【評価方法】★												
	★年長児が到着する。 ★集合・整列																	
9:35	①始めの挨拶をする。																	
9:40	②体ほぐしのゲームをする。	<table border="1"> <tr><td>年</td><td>1 1</td></tr> <tr><td>長</td><td>B A</td></tr> <tr><td>児</td><td>1 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>列 列</td></tr> <tr><td>列</td><td></td></tr> <tr><td>入り口</td><td>ピアノ</td></tr> </table>	年	1 1	長	B A	児	1 1	2	列 列	列		入り口	ピアノ	◎教師が前で見本を見せながらゲームを主導して行う。	◆児童が始めの言葉を言う。(代表児童2名)	◆児童の挨拶を受け、年長児も簡単に挨拶をする。	◎年長児に挨拶を言うタイミングを合図する。
年	1 1																	
長	B A																	
児	1 1																	
2	列 列																	
列																		
入り口	ピアノ																	
9:45	③ペアで学校探検をする。		◎学校探検の仕方や約束について説明する。 ・ペアで行くこと ・10時5分までに教室に戻ること ・困ったことがあったら、近くの先生に聞くこと	◆学校の中で、自分のお気に入りの場所に年長児を案内し、場所の紹介をしたり、遊んだりする。	◆ペアの1年生と体ほぐしのゲームをする。	◎校内を回りながら、戸惑ったり困ったりしている年長児がいないか気をつける。 ○校内を回りながら、安全に活動できているか気をつける。 ●10時5分までに教室に戻ることができるよう、声をかける。												
10:05	④ペアでかるた作りをする。	<table border="1"> <tr><td>ペア×2組が1つの机に座り、かるたを作る。</td></tr> <tr><td>※長机を19こ出しておく</td></tr> <tr><td>入り口 ピアノ</td></tr> </table>	ペア×2組が1つの机に座り、かるたを作る。	※長机を19こ出しておく	入り口 ピアノ	◎見本を見せながら、かるたの作り方を説明する。 ・探検したことをかるたにすること ・読み札は1年生が作ること ・取り札は年長児が描くこと ・協力しながら作ること	◆お気に入りの場所の句を考え、読み札に書く。 ◆読み札が書けたら、年長児と一緒に絵を描いたり、塗ったりして年長児を手伝う。	◆ペアの1年生に学校を案内してもらいながら、学校探検をする。	◎校内を回りながら、安全に活動できているか気をつける。 ●10時5分までに教室に戻ることができるよう、声をかける。 【観察】 ★年長児を進んで学校に案内したり、一緒に楽しくかるた作りをしようとしていたりしている。									
ペア×2組が1つの机に座り、かるたを作る。																		
※長机を19こ出しておく																		
入り口 ピアノ																		
10:20~10:30	《休み時間》		◎トイレに行ったり遊んだりしてよいことを知らせる。	◆トイレに行ったり、遊んだりする。	◆トイレに行ったり遊んだりする。	【観察】 ★年長児が楽しみ、自分たちも年長児に親しんで楽しい交流になるよう、かかわり方を工夫することができる。												
10:30~	※活動再開																	
11:05	⑤片づけをする。		◎片付けの仕方を説明する。	◆年長児と一緒に使ったものなどの片付けをする。	◆児童と一緒に使った物の片付けをする。	●きれいに片付けることができているか確認する。												
11:10	⑥終わりの挨拶をし、お別れをする。		◎挨拶の後、今日の評価や次の交流について話す。	◆児童が終わりの挨拶を言う。(代表児童2名)	◆児童の挨拶を受け、年長児も挨拶を言う。	◎年長児に挨拶のタイミングを合図する。 ●温かい雰囲気でお別れすることができるようにする。												




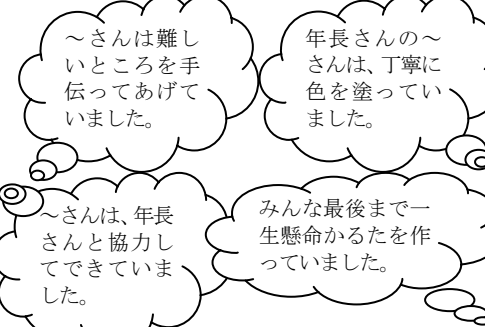
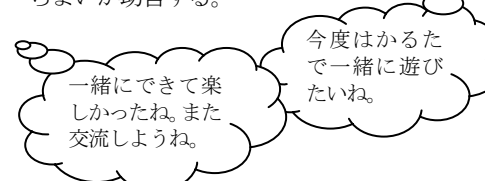
8. 本時の活動（全12時間中7時間目）…11月15日実施

(1) 目標 交流を振り返り、年長児のがんばりや自分の成長、友だちのよさに気付いたり、自分の思いを年長児に手紙で伝えたりすることができる。

(2) 評価規準 ○交流を振り返り、年長児と交流して楽しかったことや気付いたことを考え、自分の思いを手紙に書くことができる。(活動や体験についての思考・表現)
○交流を振り返り、年長児のがんばりや自分の成長、友だちのよさに気付くことができる。(身近な環境や自分についての気付き)

(3) 準備物 交流活動のビデオ、写真、手紙用紙

(4) 展開

時間	主な学習活動	 児童の意識の流れ ◎教師の支援	具体的評価規準・評価方法
5分	1. 第2回の交流活動のことを振り返りながら、思ったことを発表する。	◎第2回の交流活動のことを簡単に振り返りながら、発表させる。 	
10分	2. 第2回の交流活動の様子をビデオで見て、自分たちの活動を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">なかよしこうりゅうかいのふりかえりをしよう</div>	◎自分たちの活動をビデオで見ながら、自分たちが気付かなかったことに気付かせる。 	
10分	3. ビデオ以外での友だちや自分たちのよかったところや年長児のがんばりを考え、発表する。	◎ビデオ以外で気付いたことを考えさせる。 ・自分たちのよかったところ ・友だちのよかったところ ・年長さんのがんばっていたところ 	○交流を振り返り、年長児のがんばりや自分の成長、友だちのよさに気付くことができる。(発表)
15分	4. ペアの相手に手紙を書く。	◎振り返りを通して感じた自分の思いを書くことを伝える。 ◎書くことに戸惑っている児童には、近くに行き行って児童の気持ちを聞き、どのように書いたらよいか助言する。 	○交流を振り返り、年長児と交流して楽しかったことや気付いたことを考え、自分の思いを手紙に書くことができる。(観察)
5分	5. 活動のまとめをする。	◎次は3学期に1日入学で交流することを伝え、次の交流活動への意欲をつなげる。	